

科目名	専門演習Ⅱ Seminar II						
科目担当者	渡邊 浩司 WATANABE Koji						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	各自選定した地域やテーマ毎に現状分析、問題点や課題の抽出、解決方策、実現性等について検討を行います。 これまでに学習した事例も勘案しながらテーマについての基本計画をまとめ、発表し討論します。						
授業の到達目標	① 地域創生に関する事例研究発表の資料作成及び発表時の説明手法について向上を図る。 ② 発表についての全員による討論について、論理的意見の陳述手法を学習する。 ③ 教科書の内容に加え、地方自治や地方創生に関する社会事象についても理解を深める。						
授業計画・内容	1	ガイダンス (前期)	16	ガイダンス (後期)			
	2	研究地域・テーマの Research	17	研究発表・討論			
	3	研究地域・テーマの Research	18	研究発表・討論			
	4	研究地域・テーマの Research	19	研究発表・討論			
	5	現状分析、課題の抽出、課題解決方策の検討	20	研究発表・討論			
	6	現状分析、課題の抽出、課題解決方策の検討	21	研究発表・討論			
	7	現状分析、課題の抽出、課題解決方策の検討	22	基本計画案の修正・討論			
	8	現状分析、課題の抽出、課題解決方策の検討	23	基本計画案の修正・討論			
	9	現状分析、課題の抽出、課題解決方策の検討	24	基本計画案の修正・討論			
	10	基本計画案のとりまとめ	25	基本計画案の修正・討論			
	11	基本計画案のとりまとめ	26	基本計画案の修正・討論			
	12	基本計画案のとりまとめ	27	基本計画案の修正・討論			
	13	基本計画案のとりまとめ	28	基本計画案の修正・討論			
	14	基本計画案のとりまとめ	29	基本計画案の修正・討論			
	15	研究発表・討論	30	基本計画の完成、提出			
授業外学修 (事前学修)	事例研究発表とそれに関する討論の準備を行う。(毎回 4 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)							
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	事例研究発表 (プレゼンテーション) 授業中の討論 課題の提出 (毎回)			60% 20% 20%		① ② ③	
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	『地方創生ビジネスの教科書』 文藝春秋 『地方創生 実現ハンドブック』 日経 B P 社 (いずれも授業で配付)						
参考文献	必要に応じ適宜紹介します。						
その他							